

ロータリークラブライオンズクラブ キワニスクラブ

「社会公益賞」「キワニス文庫」 贈呈式を開催

名古屋
キワニスクラブ



あいさつする相羽会長

名古屋キワニスクラブ(相羽博文会長)東郷製作所専務)はこのほど、名古屋市内のホテルで、「第53回社会公益賞」と「第48回キワニス文庫」の贈呈式を行った。社会公益賞は、青少年保護に取り組む2団体に各50万円の賞金を、キワニス文庫は児童福祉など3施設に各26万円相当の図書を寄贈した。

(吉川英司)

両事業は毎年、青少年の健全な育成に取り組む同クラブの中核活動として行っている。会員からの推薦団体を審査し、贈呈先を決めた。

社会公益賞は、困難な状況にある児童・青少年を支援する団体を対象に、活動支援金を授与するもの。今回の受賞団体には、貧困や虐待被害、引きこもりなどさまざまな困難を抱える小学生から高校生への援助と通信制高等学校のサポート校、アフタースクール運営などを手掛ける一般社団法人愛知PFS協会(星野智生代表理事)および、被虐待児童の緊急避難シェルターを運営する特定非営

利活動法人子どもセンター

「パオ」(菱田理理事長)

キワニス文庫は、小児科

を選んだ。パオは2007年病棟や児童福祉施設に施設に次ぐ2度目の受賞とな

市千種母子福祉協会の母子生活支援施設「名古屋市に

が丘荘」(川岸義親理事長)の3施設に、絵本や児童文

学書、青少年向けハウツー

児童福祉2団体に50万円 病院など3施設に児童書

子どもの生活環境複雑化を痛感

本などを贈った。

相羽会長はあいさつで「子どもたちを取り巻く環境は複雑化し、いじめ、児童虐待、貧困などの諸問題はますます厳しい状況だ。従来にも増した、きめ細かな活動が必要と痛感している」と語った。



受賞団体、寄贈先施設との記念撮影



キワニス文庫はハウツー本なども対象に